

申請者の現状(基本情報)

作成日	令和7年4月23日	相談支援 事業者名	指定障害児相談事業所 わかば	計画作成 担当者	齊藤美香
-----	-----------	--------------	----------------	-------------	------

1. 概要（支援経過・現状と課題 等）

【支援経過】こぐま学園の発達支援を利用したいので支援計画を作って欲しいと相談を受け支援が始まる。
【現状】今年度から単独通園が開始され、最初はお母様と離れるときに泣いてしまっていたが、現在はスムーズに単独通園をすることが出来ている。

歯科に行くことが苦手であり、訪問歯科を1度検討されたが、臨床心理士さんから訪問歯科は最終的手段で利用された方がよいとのことでしばらくは通院で様子を見ていくことになる。主治医(歯科)が決まったことでその医院であれば通院できるようになってきた。目がだいぶ合うようになり、自分の要求を伝えるときは目を見て伝えようとする。

2. 利用者の状況

氏 名	割田 琉斗	様	生年月日	令和1年8月9日	年齢	5 歳	性別	(男)・女
住 所	〒818-0061 福岡県筑紫野市紫3丁目14-21					電話番号	070-2826-5785	
	[持家・借家・グループ／ケアホーム・入所施設・医療機関・その他 ()]					FAX番号		
障害または疾患名						障害支援区分		

家族構成 ※年齢、職業、主たる介護者等を記入

社会関係図 ※本人との関わりを持つ機関・人物など(役割)

生活歴 ※受診歴などを含む

1歳半検診に行ったところ、言葉が少なく意味のある言葉が3語くらいしかなく支援が必要といわれた。咀嚼力が弱く、舌先が口から出た状態だったためリハビリを始めた。目が合いにくく支持が通りにくい。兄の夏生さんがこぐま学園で母子通園をしている間の令和3年4月から9月まで保育園を利用。現在リハビリを受けながら、自宅で母と散歩をしたり遊んだりして過ごしている。

医療の状況 ※受診科目、頻度、主治医、疾患名、服薬状況等

こぐま学園:リハビリ(医療保険)
令和6年4月より睡眠時薬(メラトベル)夜服用
日高小児科:風邪をひいたとき、咳がなかなか止まらないので、喘息に処方される咳止めをもらっている

本人の主訴(意向・希望)

家族の主訴(意向・希望)

単語などの言葉を話せるようになって欲しい。行動で要求はするが、欲しいものを伝えられるようになって欲しい。おむつが外れてほしい。

3. 支援の状況

	名称	提供機関・提供者	支援内容	頻度	備考
公的支援(障害福祉サービス、介護保険等)	児童発達支援	こぐま学園	言葉の発達支援など	4日／週	
	児童発達支援	リタリコ		2回／週	5月より利用開始予定
その他の支援					